



第25回 ISO 審査登録センター・判定委員会（4月19日）

前回議事録の確認後、議題①横浜市水道局浄水部・サーベイランス、議題②スズキ鋳鉄工業(株)・サーベイランスの審議を行い、引き続き適合と判定された。

平成18年度消費税実務講座（4月20日～21日）

正会員及び賛助会員の事務職員の方々30名の参加を得て「国・地方公営企業の消費税」「消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士 中田ちず子）について研修を実施した。

第5回水道 GLP 認定委員会（4月25日）

新潟市水道局技術部水質管理課の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



4月18日
北九州市水道局浄水部水質試験所



4月18日
株式会社環境科学研究所



5月10日
新潟市水道局技術部水質管理課

W・K・バルトン生誕150年記念事業記念講演会（5月13日）

5月13日、東京都庭園美術館（港区白金台）において、日本の近代上下水道の父、W・K・バルトン生誕150年を記念して、W・K・バルトン生誕150年記念事業企画実行委員会（委員長：藤田賢二東京大学名誉教授）主催のもと、記念講演会が開催された。当日は、あいにくの空模様のなか、中島厚生労働省健康局長、江藤国土交通省下水道部長を始め200名を超える出席者のもと基調講演、記念演奏、講演が盛大に催された。



藤田企画実行委員長の挨拶



厚生労働省 中島健康局長

第57回全国水道研究発表会（5月24日～26日）

長崎市の長崎ブリックホール、長崎文化放送 NCC&スタジオ及び長崎新聞文化ホールにおいて、全国から約1,700名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、松本長崎市助役、日本水道協会を代表して赤川専務理事、来賓として山村厚生労働省水道課長より挨拶があった。また、日本水道工業団体連合会の坂本専務理事より水道展についての説明があった。



松本長崎市助役



赤川日本水道協会
専務理事



山村厚生労働省
水道課長



坂本日本水道工業
団体連合会専務理事

続いて、「人材の確保と水道技術の継承」をテーマとして、大井栄一 仙台市水道局給
水部参事、佐藤親房 東京都水道局研修・開発センター所長、多田弘二 高松市水道局局
次長兼水道整備課長事務取扱、高木英則 長崎市上下水道局業務部長、小島良三（株）荏原

製作所常務執行役員を講師に、楠田哲也 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科教授の座長のもと、水道フォーラムが開催された。

また、会期中、本会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開設され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務32、計画23、水源・取水10、浄水95、導・送・配水65、給水装置16、機械・電気・計装25、水質70、リスク管理・災害対策15、英語14の計365編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子